

いわがみじんじゃ ちゅうしん きよせきしんこう
岩上神社を中心とした巨石信仰

所在地：淡路市 柳沢



本殿と神籬岩（ひろもぎいわ）



神籬岩（ひろもぎいわ）



舞殿

岩上神社には、淡路島を代表する高さ 12m、周囲 16mもある巨石「神籬岩（ひろもぎいわ）」が本殿横の岩山中腹にあります。卵の形をした自然石で、「ひもろぎのお岩さま」とも呼ばれ、巨石信仰の象徴として、昔から地域の方に親しまれてきました。

神社創建は室町時代であると伝えられていますが、巨石の付近から平安時代の土器が出土し、古代から祭祀されてきたと推測できます。

県重要文化財の指定を受けている本殿は、軒出を不均一にするなど類を見ない建築技法や、不規則な配色、象鼻が飛び出す彫刻の多用など、国内でもきわめて異色の本殿です。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
 - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路 IC から、県道 66 号線を北東へ。車で 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万 5 千分の 1 地形図